# 新編金瓶梅 六集 上

馬琴 作

豐國 画

Gôkan:(No. 0
Shimpen Kimp
Book 6--10.

へ 13
3724
6

門へ13
.24
6

馬琴作
國貞画

# 新編金瓶梅第二集上帙

和泉屋市兵衛版



天道は善に與し善は天理の公なり人心を教ふる所以へ天理の自然なれば之。是をもつて二人の孝子も又人間の翁媼も人の善悪邪正を見れば彼は悪此は善と。然るを己が上に在りて是非の境に惑はぬ四十あり。其を何と尋るに我庇に出て見人らも人の庇は最臭紙が如く人の邪正を知るも際りく己が行ひ非理農恵を善と思ひて諫を怒る人は前勝手の臆断のみ迷ふく程ちは愚夫愚婦と備へ一切衆生と名けく世話物語経文三昧佛の善巧方便なる小説稗史と雖も勸懲を宗とするなれば中にも最小さて浅ちなる赤本とも合巻物の本まで云ふも示唆下田地にあるれば戯けき中に用意ある新版新編金瓶梅今茲は既に六集の筆の肇に似けれども見堅動労のこかくまでに迹て作りて校元の責を塞ぐ久哉嗚呼甚哉吾奇なる吾夢ふ共も秀稿を汚ざるものなり是を自序とす

天保十年孟春上旬此書夏開版の前炑筆を早めそ　馬琴識

四時禽
第一
春禽
志貴實一郎
守真
亢龍の悔
子を云事狂
舞鶴
順礼
朗五郎
不遣小僧
秘事松

四時禽第二
夏の鳥
靖破せる使を
やる夜やほとゝ
きす史
淡路の
野梅
順礼
小袷

四時禽第三雜鳥
脚と嘴驚ほど
黒きも北之郭
し

北利木之助好香

六條娼妓
藻芟

四時禽第五

冬鳥

鶺鴒やうり

つれ出もの

林川

久米谷

造酒進

清妙

戸垂

鎌

杖

澄

縄





四時禽第六

雑鳥

搦捕る苗頃時の

鴉可南

再出

命婦琴柱

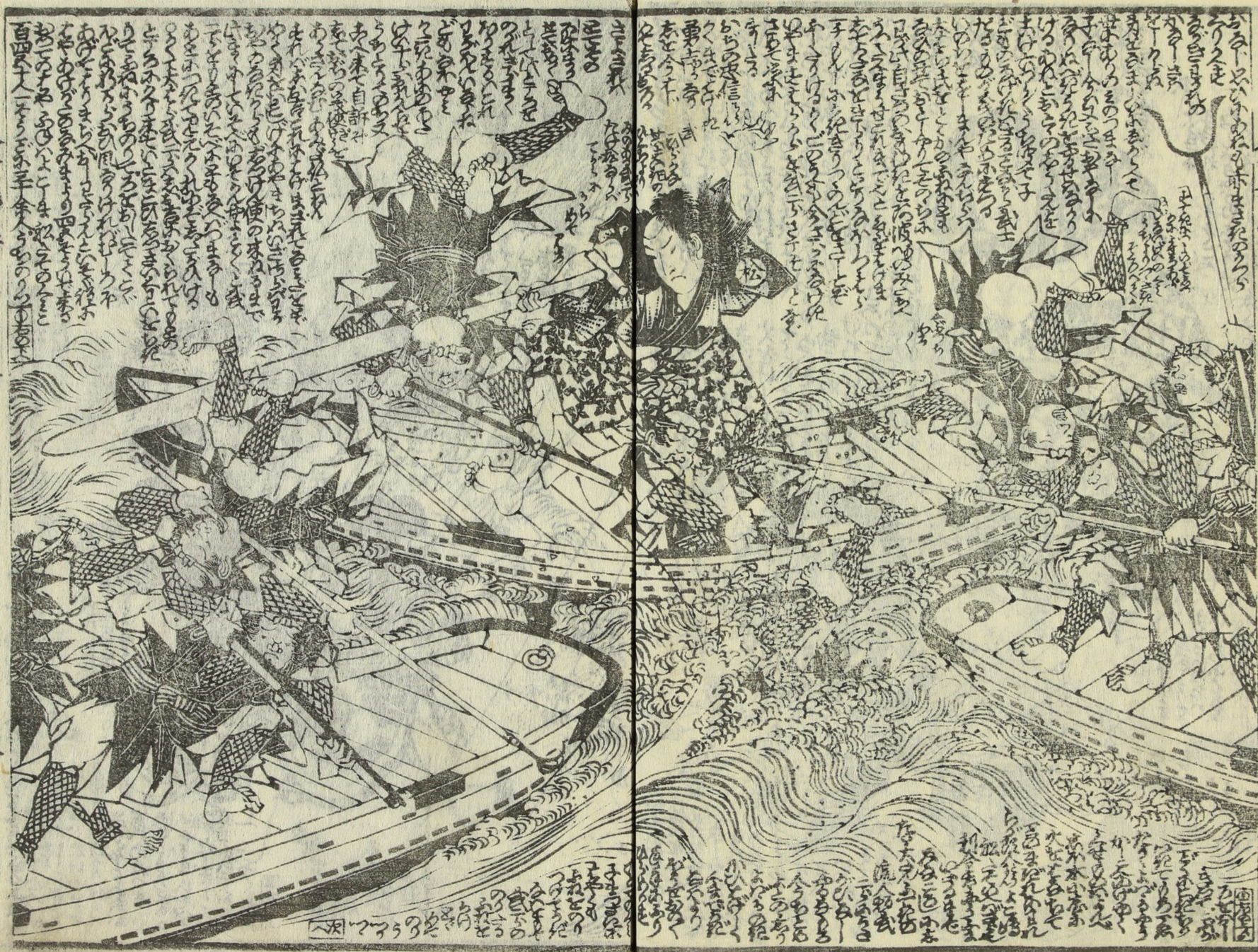
再出

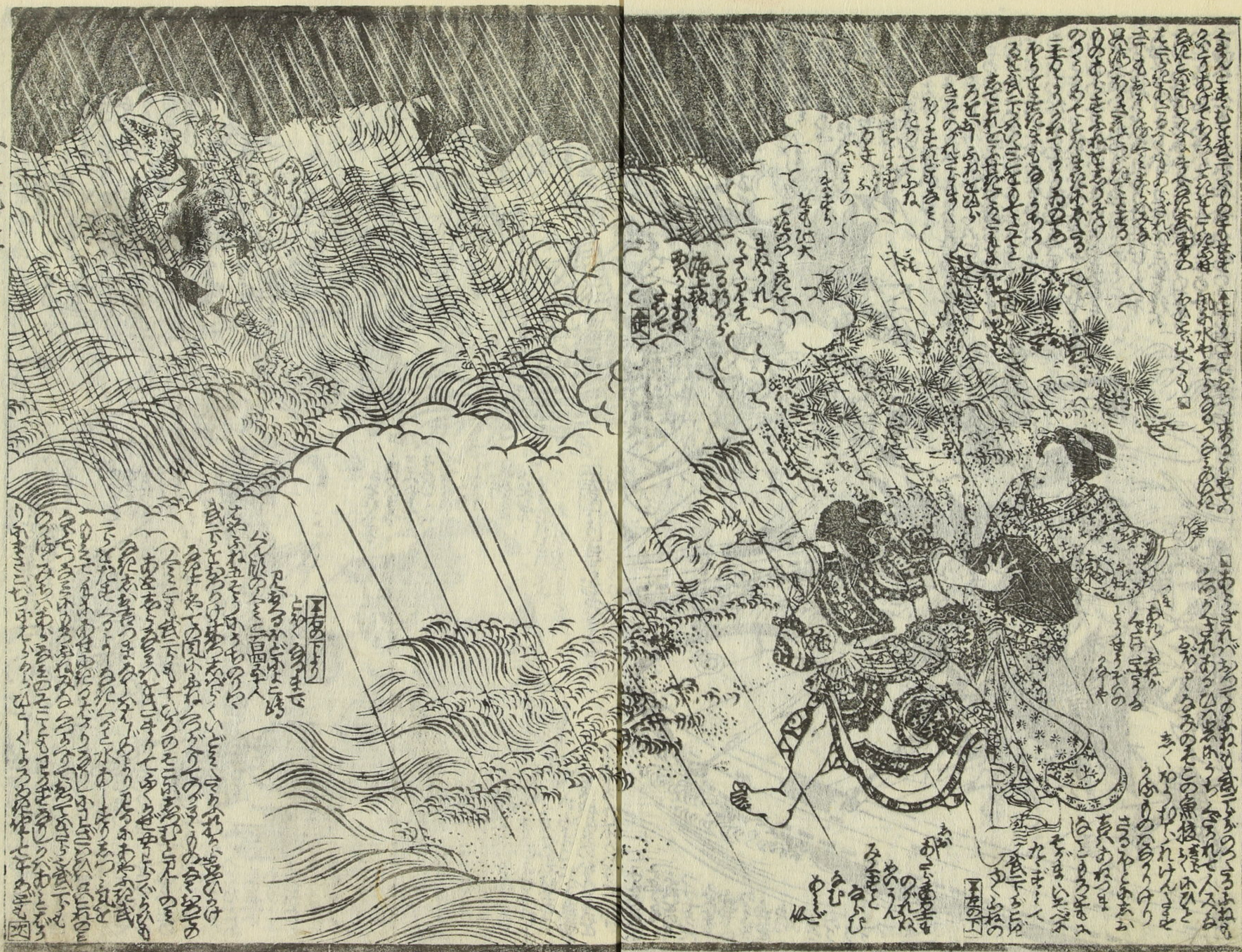
鵯

児

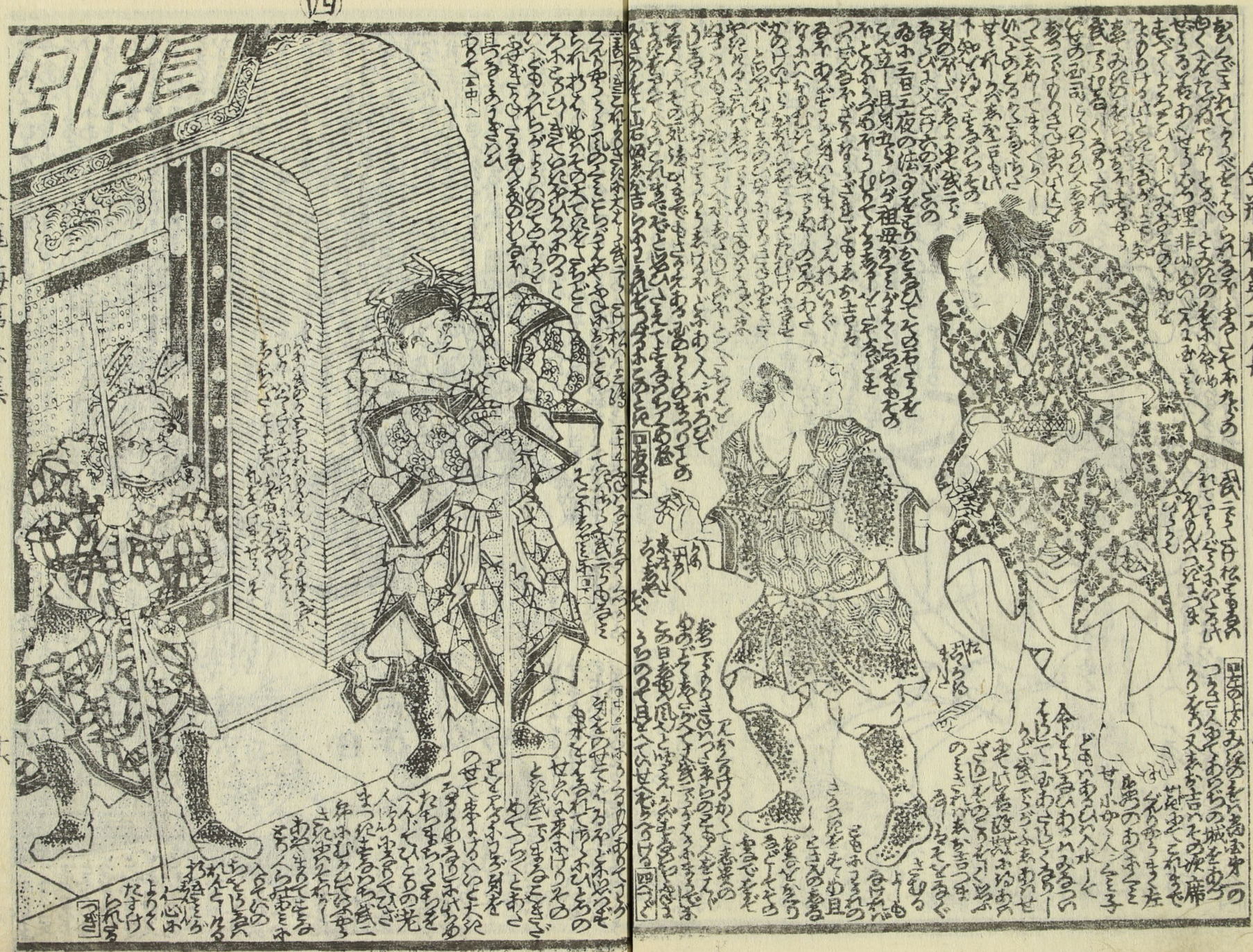
啓十

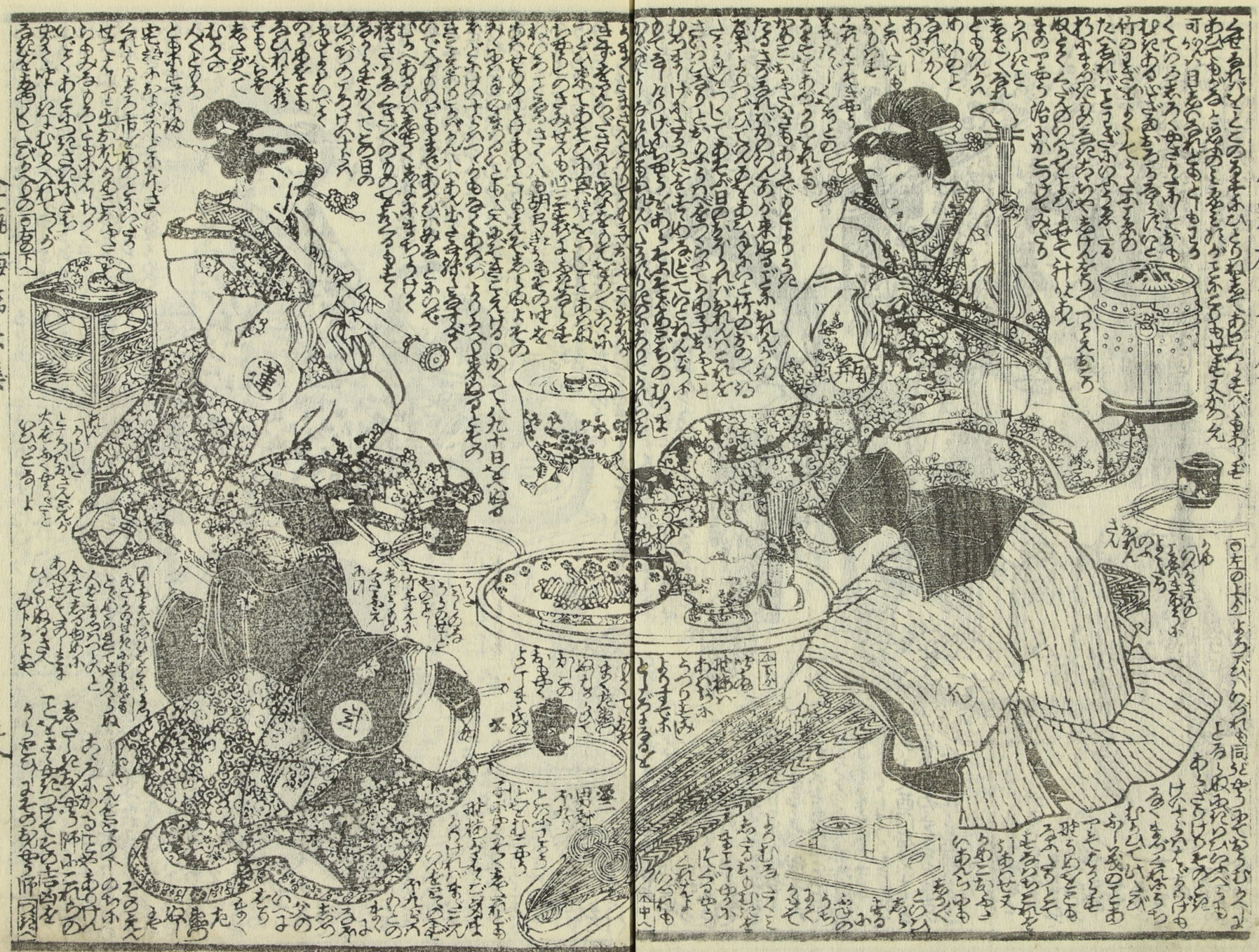
御奸賊
悪以除
民之恵





和合二仙童の
明人の小說西洋紀事
五十六回載て其姓
名を千和萬合とゝ
いろ〳〵益和合は天地の功
聖賢の德かなられ
君臣父子夫婦兄弟朋友
陰陽萬物和合せざれば
まことの嗚呼和合德大
哉賢人曰 やうてけあるあるのあ一義ふも
月おゝく虫れの桂 八九 [illegible]





梅

# 國貞画　馬琴作

新編金瓶梅十集　曲亭馬琴作　一陽齋豊國画

女郎花五色石臺　初編曲亭馬琴作　四冊一陽齋豊國画

児雷也豪傑譚七篇　美圖垣笑顔作　一陽齋豊國画

菊花壇養種　初篇全一冊

# 彩海金瓶梅第六集

下帙

馬琴作

國貞画

己亥春魁本

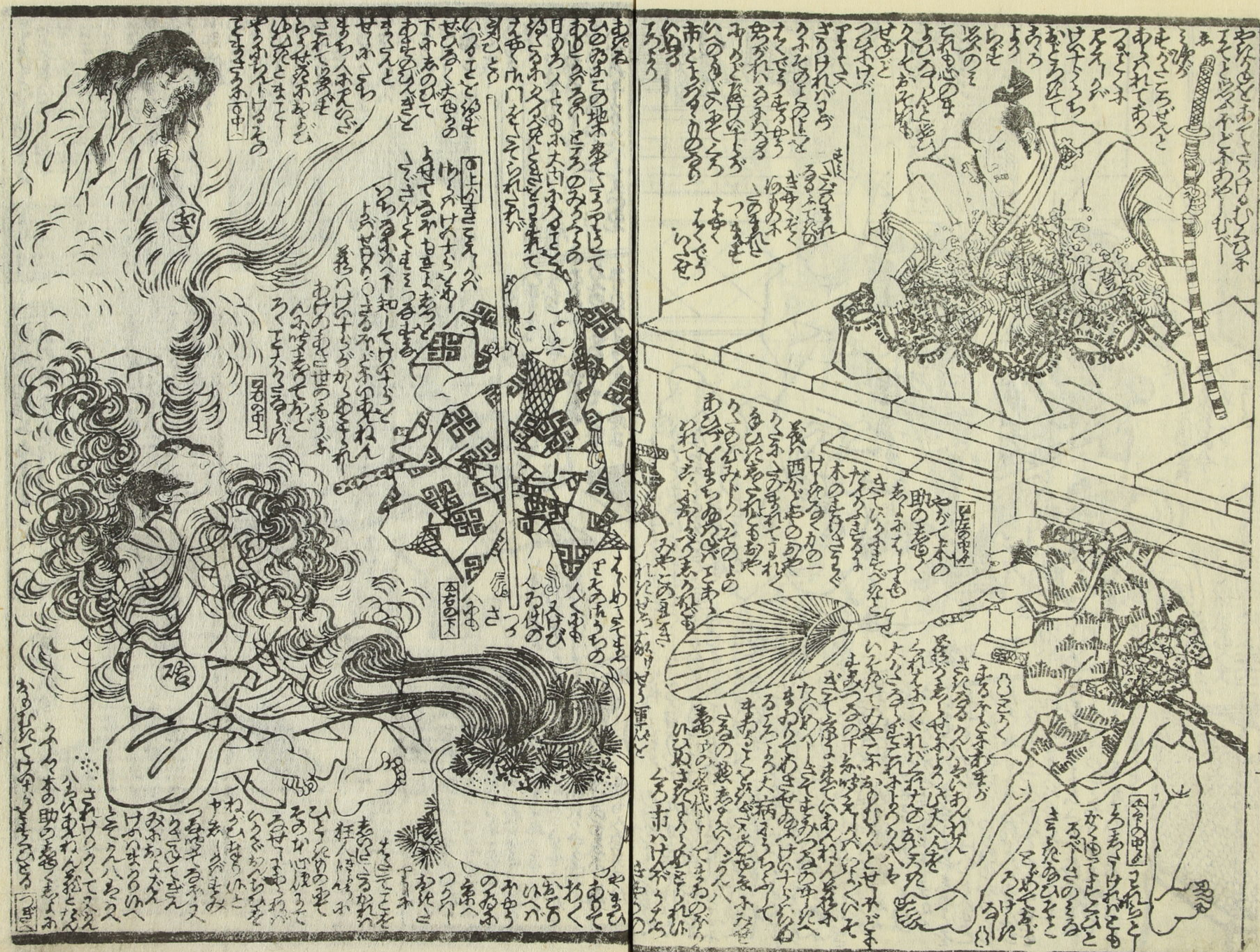
甘泉堂精刊

長命酒

長命酒

木
秘

左の上方
左の下へ
右の下へ
右方
右方
つぎねは

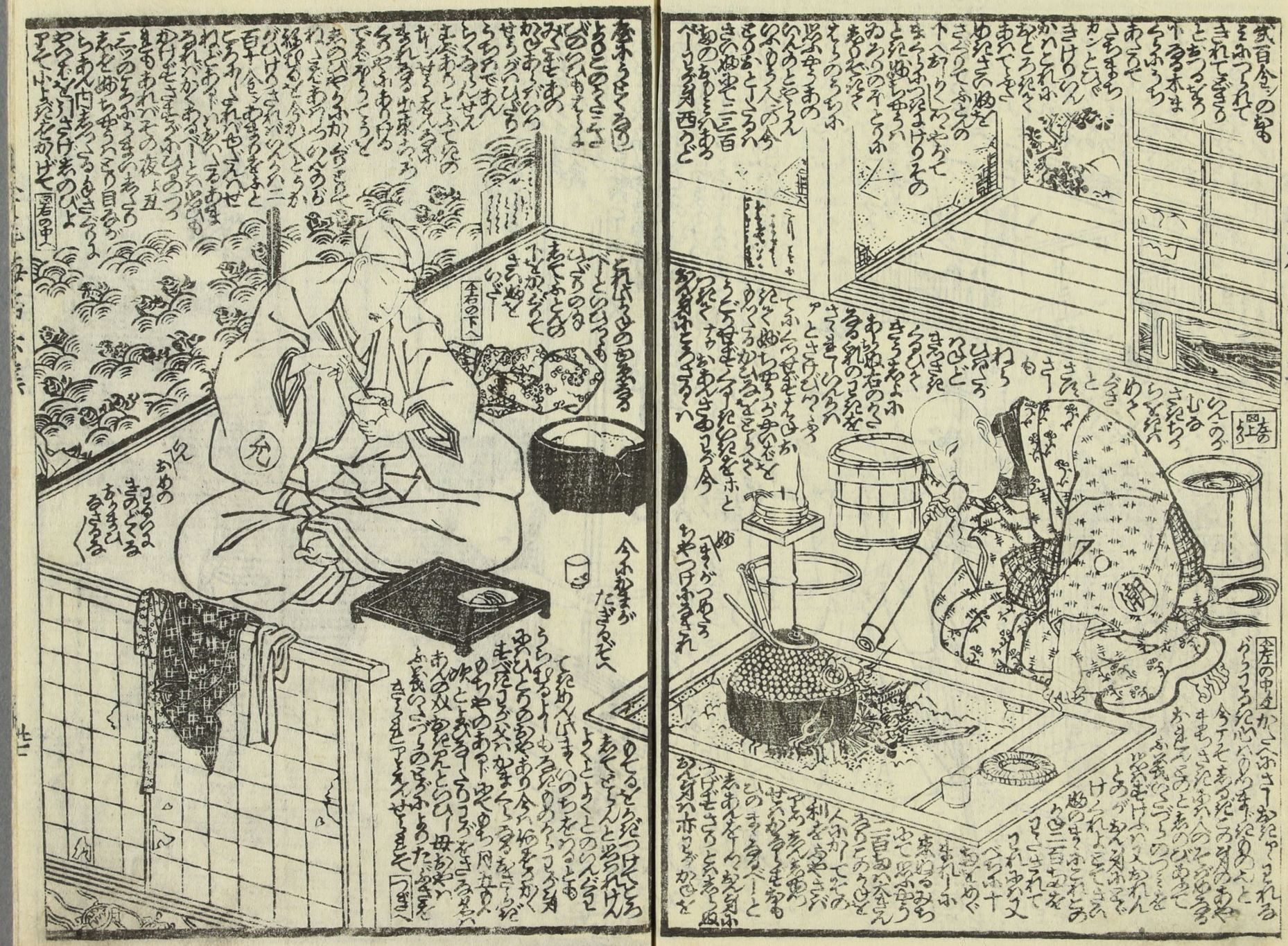


木


化




喜


左の中へ
左の下へ
左の中へ

馬琴作

國貞画

家傳神女湯　婦人のこゝろ　一包代百銭

精製奇應丸　大包代弐朱中包代弐分

熊胆黒丸子　一包代五下

婦人宝ぐすり　一包代六十四文

製薬本家　四谷塩町二丁目　瀧澤氏

賣弘所　元飯田町中坂下南側よもの内　林氏製

金匹殺命丸　処方　本石町弐丁目　林氏製

淨書　三ノ巻　音成

二四五六　七八ノ巻　金川

# 湖月百人一首撰庫

絵本名頭武者部類　前篇　全

源氏絵尽　中本　全

女用玉箒　大本一冊

蘭山先生著

鶴賀新内正本所

和泉屋市兵衛

# 栞玉百人一首

源氏絵尽　女今川入

# 姿百人一首小倉抄